

報道関係者各位
プレスリリース

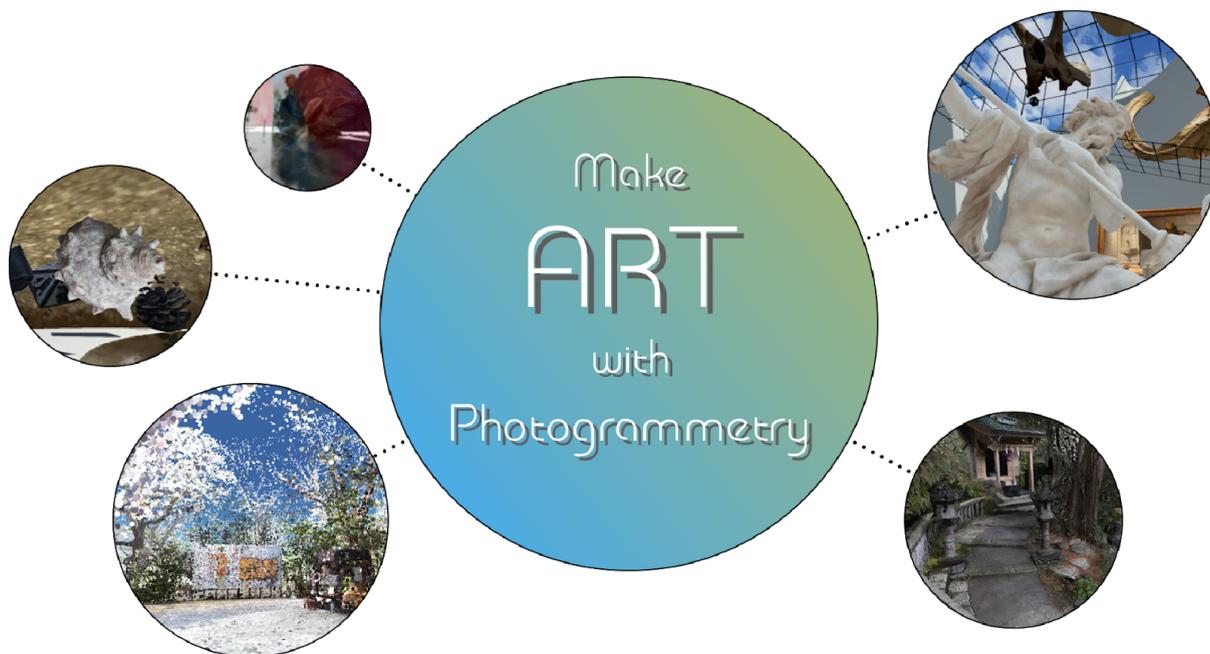
2019年5月21日
株式会社Psychic VR Lab

NEWVIEW AWARDS 2019 スピンオフアワード 「STYLY Photogrammetry Awards」開催

～フォトグラメトリ x VRでアートコンテンツを創出～

VRクリエイティブプラットフォーム「[STYLY](#)」を提供する株式会社Psychic VR Lab（本社：東京都新宿区 代表取締役：山口征浩）は、フォトグラメトリを活用したVR空間制作の浸透とアーティストの創出を目的としたVRコンテンツアワード「STYLY Photogrammetry Awards」を開催いたします。

本アワードは株式会社Psychic VR Lab / 株式会社パルコ / 株式会社ロフトワークの3社共催で開催するNEWVIEW AWARDS 2019のスピノフアワードであり、応募作品はNEWVIEW AWARDS 2019（<https://newview.design/awards/2018/jp>）にも応募することができます。



測量など業務利用が目立つフォトグラメトリですが、最近ではアーティストの作品制作ツールの一つとして利用する場面も増えてきています。

STYLY Photogrammetry Awardsが目指すのは、そのような「個人の作品製作ツール」としてのフォトグラメトリ活用の浸透であり、フォトグラメトリを活用して3D空間を表現できるアーティストの創出です。

テーマは「フォトグラメトリでアートを創り出せ」。審査員にはメディア・アーティストであり、多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コースにて専任講師を務める谷口暁彦氏を初め、裸眼立体視ディスプレイ「Looking Glass」を提供しているLOOKING GLASS FACTORY社、建築ビジュアライザー龍氏らを迎え、国内外のアーティストによる作品を募集します。

2019年5月21日（火）から6月30日（日）の応募期間中は、東京をメインにフォトグラメトリの基礎からSTYLYでの空間制作をレクチャーするワークショップを開催。2019年7月には受賞作品の展示会も開催予定です。

フォトグラメトリ x VRで新たなアート表現が生まれることを期待しています。

フォトグラメトリとは

フォトグラメトリは、物体を様々な方向から撮影した写真をコンピューターで解析し、3Dモデルを立ち上げる技術です。フィギュアのような小さなものから、建築や都市といった大きなものまで3Dモデルにすることができます。測量や地形調査、史跡保護などの専門的な分野でも使用される技術ですが、最近ではゲーム制作でも活用されています。

PCやフォトグラメトリ用のソフトが高性能化してきていることから、誰でも簡単に扱うことができる技術となりつつあります。

フォトグラメトリについてはこちらのページにて詳しく解説しています。

https://styly.cc/ja/tips/photogrammetry_summary/

STYLY Photogrammetry Awards

（英語） <https://styly.cc/contest/styly-photogrammetry-award-2019/>

（日本語） <https://styly.cc/ja/contest/styly-photogrammetry-award-2019/>

STYLY Photogrammetry Awards 概要

■ 募集対象

フォトグラメトリを活用して作成したVRコンテンツを募集します。VR空間を駆使した新たな表現・体験を生み出せるクリエイティブプラットフォーム「STYLY」を使って制作・公開されたVRコンテンツ作品が対象です。

作品の全てをフォトグラメトリで作成する必要はなく、作品の一部にフォトグラメトリが含まれていれば応募可能です。また、制作プロセスにおいてSTYLY以外のツール（3DCG、ゲームエンジン、DAW etc.）を使用することは構いません。発表済みの作品も応募可能です。

STYLY Official Site : <https://styly.cc/>

■ スケジュール

・ 募集期間：2019年5月21日(火) ～ 2019年6月30日（日）24:00 (日本時間)

・最終審査結果発表・受賞作品展示会：2019年7月上旬予定

■ 審査員

谷口暁彦



多摩美術大学情報デザイン学科メディア芸術コース講師。メディア・アート、ネット・アート、映像、彫刻など、さまざまな形態で作品を発表している。

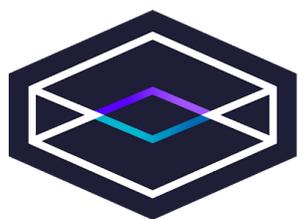
主な展覧会に「[インターネットアートこれから]——ポスト・インターネットのリアリティ」(ICC、2012)、「SeMA Biennale Mediacity Seoul 2016」(ソウル市立美術館、2016)、個展に「滲み出る板」(GALLERY MIDORI。SO、東京、2015)、「超・いま・ここ」(CALM & PUNK GALLERY、東京、2017)など。

龍 lilea



静止画・動画・解析可視化。VR・AR・MR。デジタルアーカイブ・シミュレーション・コモングラウンド◆建築にまつわるビジュアライゼーション&デジタルソリューションを追い続ける人。点群に魅せられその可能性を探る日々◆ Architectural Visualization & Digital Solution / Twitter lileaLab / xRArchi

LOOKING GLASS FACTORY



LOOKING GLASS FACTORY

ホログラム専門家、光学技術者、機会工学者、電気技師、Unity開発者、3Dグラフィックアーティストから成るチームが4年間かけて完成させた全く新しいクリエイション、Looking Glass！

■ AWARDS

- ・ 審査員賞 1作品 Oculus Quest（※人気商品のため、発送が遅れる可能性があります。）



- ・ LOOKING GLASS賞 1作品 LOOKING GLASSスタンダード



・ STYLY賞 1作品 cloma パーカー



■ スポンサー



**LOOKING GLASS
FACTORY**

■ SAMPLE WORKS

《[Emma VR: Painting Life](#)》 by wyattroy



《[The Museum of Photogrammetry](#)》 by Discont



《[Zeniaraï Benten Shrine](#)》 by 龍 Lilea



《[Bibury StyleTransfer](#)》 by nobelchoco



■ **STYLY**



STYLYは、アーティストに空間表現の場を提供するVRクリエイティブプラットフォームです。

STYLYを活用することで、コンセプチュアルなショップ空間やインスタレーション、ギャラリーなどクリエイターのイマジネーションを際限なく表現した多彩な空間を構築できます。

またその空間を通じて、今までの現実では成し得なかった体験をインターネットの世界へシェアすることができます。

WebブラウザのみでVR空間制作が可能で、MacやWindowsに対応。VR対応型PC以外の普及型パソコンでも稼働します。また、MAYA, Blenderなどの3Dソフトはもちろん、Youtube、SoundCloud、Instagramといったサービスと連携しているので、複雑な操作なしに各種素材を取り込み、空間制作に活用することができます。

STYLY Official Site : <https://styly.cc/>

主催 株式会社Psychic VR Lab (<https://psychic-vr-lab.com/>)

- ・ 本社所在地 : 東京都新宿区新宿1丁目34-2 MORIAURA 2F
- ・ 代表者 : 代表取締役 山口征浩

VR（バーチャルリアリティ）時代におけるクリエイティブプラットフォームとして、ブラウザだけでVR空間を構築し、配信を行うことができるクラウドサービス『STYLY』を展開、すべてのクリエイターがVR空間を作ることができる世界を作ることをミッションにアート、ファッションからライフスタイルに関わるインターフェイスのVR化を推進しております。

<本件に関するお問い合わせ先>

株式会社Psychic VR Lab

担当：渡邊 遼平

メールアドレス：info@psychic-vr-lab.com

プレスリリースやロゴなどが入った、プレスキットは以下よりダウンロードください。

<http://urx2.nu/C1vg>